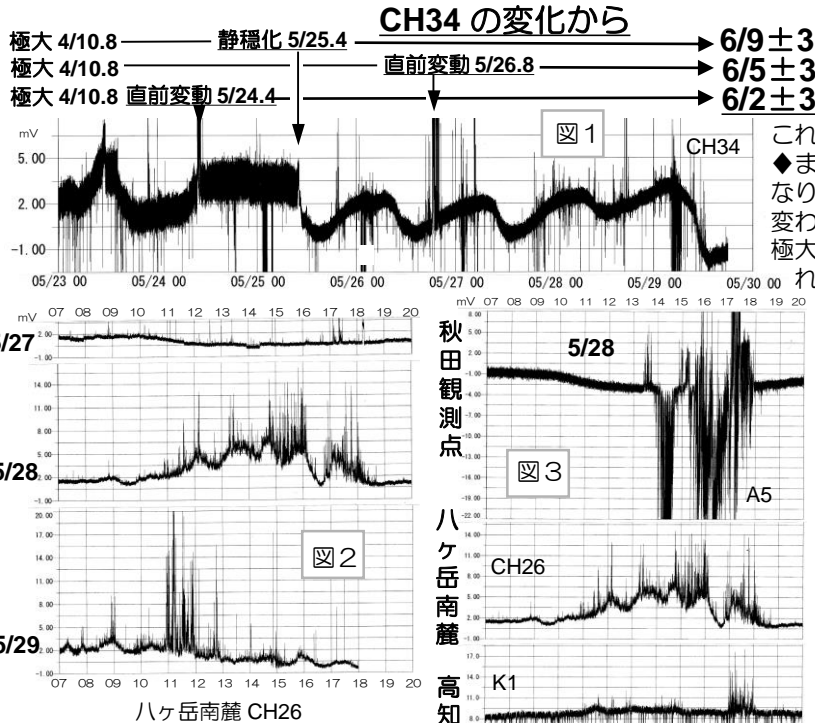


※首都圏直下・南海トラフ等大地震は前兆検知から発生までの日数は数日の可能性が高いですが、No1778前兆は30年の観測歴上最長継続の最大に難解な変動です。No1778前兆につきましてはPHP新書「地震予報」に記したため、読者の皆様に出版後の前兆変動の変化について続報公開しています。No1778以外の他の地震前兆につきましては本HPでは公開できません。E-mail またはFAXで配信している観測情報でのみ公開しています。本観測研究をご支援下さる皆様にNo1778以外の別の地震前兆変動の有無や発生推定内容等の観測情報を配信しています。観測情報配信の「公開実験」に是非ご参加下さい。2024.1/1発生の「能登半島地震M7.6」につきましては、2023.12/31の午前11時に、M7.3±0.5の地震が1/2±2に発生する可能性「予報」を観測情報配信参加の皆様に配信し、地震発生に間に合いました。No1778に関しては解説資料の32頁～35頁を参照下さい。  
※2024.8/8発生の日向灘M7.1地震は、7/27 高知観測点の複数観測装置に前兆変動極大が綺麗に観測され（前兆規模M6.1±0.5、海深補正M0.9±0.3、推定規模M7.0±0.5）、前兆極大から地震発生までの日数はプレート境界型の遅いパターンTmap=12日で発生致しました。またその後は一切大地震が推定される前兆変動は観測されておりませんでしたので、南海トラフ巨大地震発生の可能性は考えられないことを、毎日、高知観測点全観測基線波形を掲載して、日々配信の観測情報で配信公開致しました。皆様の本観測研究に対するご支援（情報配信参加）を賜りたくお願い申し上げます。

**No1778 17年11ヶ月継続長期継続前兆変動 続報 火山噴火型前兆変動 複数日観測**  
**No1778 と関連がある場合は 地震発生に伴い 震源に近い火山で噴火の可能性否定困難**

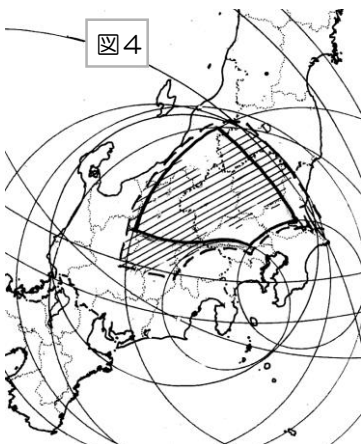


◆図1はCH34基線です。5/24.4に直前変動の可能性として報告致しましたが、図1のとおり5/26.8に、より顕著な短時間変動が出現。こちらを直前変動としますと6/5±3発生を示します。これはA5から推定される6/2±3の誤差範囲内です。  
◆また一度静穏化したCH34基線は再び特異変動で太くなりましたが、図1のとおり5/25.4で一気に細い基線に変わり現在も継続しています。仮にこの5/24.4を4/10.8極大の静穏化としますと6/9±3を示します。但し、これはA5の変化とは合いません。

**火山噴火型前兆変動観測**

◆図2のとおり、5/28に明確な火山噴火型前兆変動が観測されました。同期して出現した観測装置は以下のとおりです。  
(秋田観測点) (ハケ岳南麓) (高知観測点)  
A1,A5,A6 CH12,17,26 K1,K5,K9,K10  
5/29にも短時間ですが出現しておりますので、一日だけの出現ではないため、噴火の可能性が否定できません。明日により強い変動が出現する可能性もありますが、現状は5/28が強く極大に見えます。  
◆図3は5/28の火山噴火型前兆変動が出現している時間帯の遠隔観測点データです。秋田観測点は変動値が大きいです、ハケ岳南麓の方が

長時間出現しています。高知観測点は時間も短く、変動値も小さいことが判ります。火山噴火型変動は活動火山に近い観測点に大きく出現する経験則があります。従って、ハケ岳に近い(約200km圏内)領域で、かつハケ岳より北側、北東側に位置する火山の可能性が示唆されます。5/24～5/26には2～3時間ほどのハケ岳南麓だけに出現した火山噴火型も観測されています。こちらの波形は過去例との比較から草津白根山噴火の変動と酷似しています。5/28、29の変動は浅間山と草津白根山の噴火前兆変動過去例に似ています。浅間山の過去例は変動極大から、3日・5日・6日で噴火しています。今回は5/28が極大の場合は、Tmap5日±3とした場合は、6/2±3の可能性が示唆され、No1778の対応地震発生の可能性時期と合います。従いまして、No1778の対応地震活動に伴い、震源に近い火山での噴火活動の可能性が否定できないと考えます。強く必ず噴火すると言えないのは5/28と



- 推定領域：図4の点線領域内＝大枠推定領域  
斜線領域＝火山近傍で考えやすい  
(太線領域内＝可能性が考えやすい・参考)
- 推定規模：M8.0±0.3 (M7.7～M8.0の可能性高い)  
または 複合地震  
複合の場合はM7以上地震の断層長Lkmが Log L=0.5M-1.8 (Utsu.)  
式で合計で110～150km程度となる様な複合地震活動の可能性  
(例：M7.1±0.3+M7.3±0.3等)
- ※地震発生に伴い震源に近い火山で噴火の可能性否定困難
- 推定時期：6月2日±3 (6/2～6/5の可能性考えやすい)  
※但し6/5までに発生無き場合は、6/9±4の可能性有
- 推定地震種：震源浅い日本列島陸域地殻地震
- 推定発生時刻：午前8時30分±2時間 or 午後6時±3時間  
(複合地震では当てはまらない)
- ※17年以上継続する観測歴上最長の変動は観測例がない初めての体験で、解析が極めて難しいため推定に誤りがある可能性は否めません。お許しください。

29の変動の形に差異があるためです。  
◆No1778長期継続前兆変動は、あくまでも地震活動の前兆変動で、火山噴火活動が対応活動ではありません。噴火の可能性はあくまでも5/28、29の変動からです。  
◆左記は現状考えやすい推定内容です。発生時期に関してだけ若干確定しづらい部分有。修正の場合